

第8分科会 社会形成能力

研究主題 社会形成能力を育む教育活動の推進

趣旨

グローバル化の進展や技術革新等により、とどまることなく変化する社会の中で、子供たちが夢や目標を持って積極的に自ら未来を切り拓いて生きていくためには、一人一人が自分の能力や可能性を信じ、学習したことを課題解決に生かす力や、多様な人々と連携しながら様々な社会の変化を乗り越えていく力と態度を育てることが不可欠である。そのため、学校では、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、他者と協力・協働して今後の社会を形成しようとする態度や能力を育む必要がある。

校長は、校内の組織体制を整備し、キャリア教育の視点を取り入れた教育活動を一層充実させることにより、社会的自立・職業的自立に向けて必要な基礎的・汎用的能力（人間関係・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）等、子供に生きる力の基礎を育むことが求められている。

本分科会では、学校の教育活動全体を通じて子供一人一人のキャリア発達を促し、よりよい社会の形成に向けて、主体性をもって社会に参画し、課題解決を図る能力や態度などを育むための具体的方策と成果を明らかにする。

協議題

- ① 社会の発展に貢献しようとする資質・能力・態度を育む教育活動の推進
- ② 自立・協働・創造の心を育むキャリア教育の推進

提案者

宮崎県延岡市立緑ヶ丘小学校 長友 紀
大分県由布市立西庄内小学校 小出 和洋